



知夫小中学校
 Tel 08514-8-2015
 Fax // 8-2312
 〒684-0100
 知夫村 1053-1
 [HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

一学期を振りかえって

校長

今年度のスタートにあたり、始業式では児童生徒に向けて「主体的に取り組むこと」「まずは自分でやってみること」「取り組んだ過程(道のり)を大切にすること」「力を合わせてやり遂げること」について話をしました。これらについて課題は様々にあると思いますが、私なりに印象的な場面をいくつか紹介します。

今学期の児童生徒会の重点は「あいさつ」でした。気持ちの良いあいさつが学校内でも地域でも、誰に対してもできる知夫小中学校でありたいという願いを持って取り組みました。定期的に「あいさつ運動」を行い、学校内外から、肯定的に評価する声も聞かれるようになりました。七月の児童生徒集会では本部から成果発表があり、登校時のあいさつの様子を映像にとり、四月当初と比較することで「あいさつ」の良い変化を全校児童生徒に伝えました。伝え方を工夫し、今後の励みとなるような言葉を選んでいました。その他にも、学級活動や総合的な学習等で、自分たちで話し合ったり、自らテーマを模索して探究活動をしたりと、児童生徒が主体的に学び、活動する姿がいろいろな場面で見られました。

「力を合わせる」

一学期は全隠岐陸上大会や小学部の島前バスケットボール大会、中学部のソフトテニス隠岐ブロック大会など、学校行事として参加した大きな大会がありました。バスケットボール大会では大接戦を繰り広げ、隠岐ブロック大会では個人・団

【学校教育目標】

未来を切り拓く
 心豊かでたくましい
 知夫の子どもを
 育成する

【めざす子ども像】

- ・自ら学ぶ子ども
- ・共に生きる子ども
- ・たくましく
生きる子ども
- ・ふるさとを
愛する子ども

体ともに県総体の出場権を獲得しました。大会前の壮行式では、下学年がリーダーとなり、応援を工夫したり、激励の言葉を伝えたりと、知夫小中学校ならではの温かい雰囲気を感じることができました。大会での一生懸命にプレーする姿、仲間間で声をかけ合い、励まし合う姿も印象的でした。また、それら大会の報告会では、選手から全校児童生徒へ感謝の気持ちと大会を振り返って感じたことを個々の表現で伝えました。

「過程(道のり)」

今年度の校内研究では、小学部はICTを活用した学び、中学部は総合的な学習における探究的な学びの充実に取り組んでいます。今学期は校内の参観授業が積極的に行われ、校長である私も授業を参観する機会がたくさんありました。注目したのは児童生徒の振り返りの記述です。小中共に児童生徒自身が今日の学びを振り返り、明日に生かすことができるように工夫されています。実際の記述内容を見ると、発見したことや新しく知り得たこと、疑問に思うことや次回の授業で学びたいことなどが書かれています。児童生徒が学びの過程(道のり)を大切にしている一場面であろうと思います。

残りの「まずは自分でやってみる」については、ぜひお子様に聞いてみてください。子供たちなりにチャレンジしたことがたくさんあったのではないかと思います。

さて、長い夏休みに入ります。第一に、健康で安全に過ごし、全校児童生徒と全教職員が元気に二学期の始業式を迎えることを願っています。また、夏休み期間を利用して、生活習慣や学習習慣などについて、一学期に自分の課題として思い浮かべたことや二学期にはできるようにしたい

ことに取り組んでみてほしいと思います。人に言われて取り組むのではなく、「自分で考えて、まずは自分でやってみる」ことをしてほしいと思います。少しのことでもよいので、自分の「プチ改革」に取り組んでみましょう。

最後に、保護者・地域の皆様には一学期の教育活動に對しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

中学部三年 修学旅行

中学部三年担任

三泊四日の関西修学旅行は、子どもたちにとって最高の思い出になった修学旅行でした。修学旅行のスローガンは、「マナーを守り、みんなが楽しかったといえる修学旅行にしよう!」でした。そのスローガンの通り、公共の場や宿舎でのマナーも良く、子どもたちの中学校生活の思い出になったようです。また、修学旅行と総合的な学習をリンクさせているため、京都自主研修では自分たちが立てた計画のもと、フィールドワークなどを実行しました。修学旅行の学びを次の学習に生かして欲しいと思います。

中学部三年

修学旅行は奈良・大阪・京都・兵庫へ行きました。ユニバやなんばグランド花月で目一杯楽しみなながらも、京都での自主研修は総合的な学習の時間での学習をしっかりと行うことができました。ユニバに行くのは初めてだったのでアトラクションで存分に楽しみました。今まで興味のなかった漫才や新喜劇もとても面白かったです。良い修学旅行となりました。



中学部三年

三泊四日の修学旅行は、とても楽しかったです。思い通りにならないこともありましたが、自主研修で利用するつもりだった電車でチケットが使えず、自己負担を避けた結果、二時間歩いて移動しました。移動中に班全体が疲労からか、感情的になり、まとまった行動ができない時もありました。また、ユニバでは思ったよりアトラクションに乗ることができなかったです。でも、宿でみんなと話したことが一番の思い出です。

中学部三年

今回の修学旅行では、しっかりとマナーを守って過ごすことができました。自分が特に面白かったことは二日目に訪れたなんばグランド花月とユニバです。なんばグランド花月ではたくさん漫才や新喜劇を見ることができて嬉しかったです。ユニバでは、たくさんアトラクションに乗ることができて、とても楽しかったです。とても良い思い出になりました。



中学部一年 村内ジオ遠足

中学部一年担任

六月二十八日、村内のジオパーク学習に行きました。生徒にとっては当たり前の風景の中で、島の成り立ちや歴史などを学べた貴重な体験となりました。

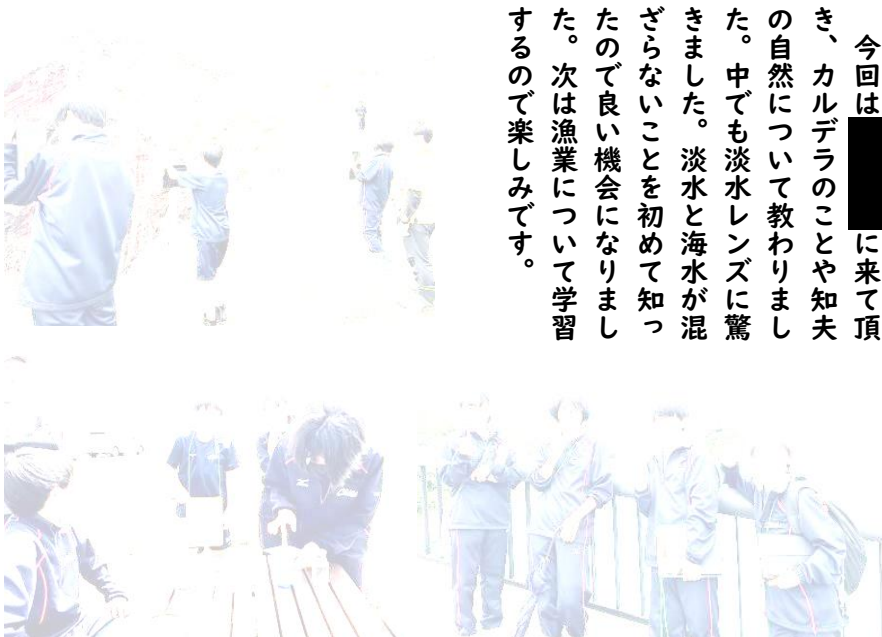
中学部一年

島津島では、砂岩があったり、砂浜が少なからず分かります。また、白壁については知らなくて見るのも初めてでした。いろんな所にポコポコがあつて下りるときは痛かったです。赤は、島前が出来た噴火のお話を聞いて、改めて火山の噴火ってすごいなと思いました。赤壁では、赤壁がどのようなものか、お話しを通して分かりました。私にとって、あるのが当たり前な赤壁が、歴史の貴重品であり、めずらしいものだとは思いもよらなかった。

中学部一年

今回は

にきて頂き、カルデラのことや知夫の自然について教わりました。中でも淡水レンズに驚きました。淡水と海水が混ざらないことを初めて知ったので良い機会になりました。次は漁業について学習するので楽しみます。



小学部 クラブ活動

担当

小学部では、三〜六年生が隔週でクラブ活動を行っています。今年度は児童の興味・関心に基づき、前期に三つ、後期に二つのクラブを開設し、各々が入りたいクラブに所属して活動をしています。前期のクラブは以下の通りです。

★フィッシャーマンクラブ

知夫の海で釣りを満喫しています。釣れた魚を嬉しそうに包んで帰る子、更に大物を狙おうとリリースする子、アプローチも様々です。

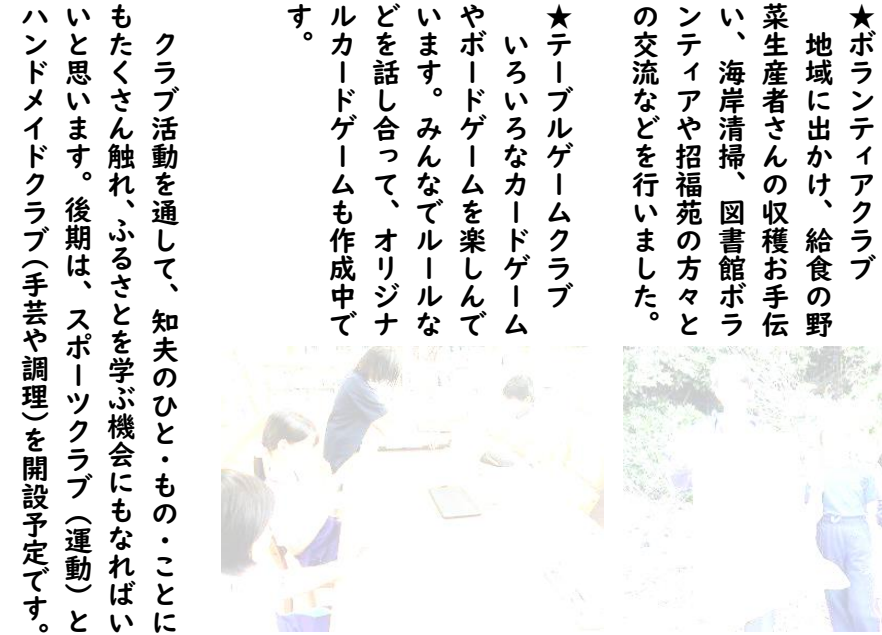
★ボランティアクラブ

地域に出かけ、給食の野菜生産者さんの収穫お手伝い、海岸清掃、図書館ボランティアや招福苑の方々と交流などを行いました。

★テーブルゲームクラブ

いろいろなカードゲームやボードゲームを楽しんでいます。みんなルールなどを話し合っており、オリジナルカードゲームも作成中です。

クラブ活動を通して、知夫のひと・もの・ことにたくさん触れ、ふるさとを学ぶ機会にもなれば良いと思います。後期は、スポーツクラブ(運動)とハンドメイドクラブ(手芸や調理)を開設予定です。



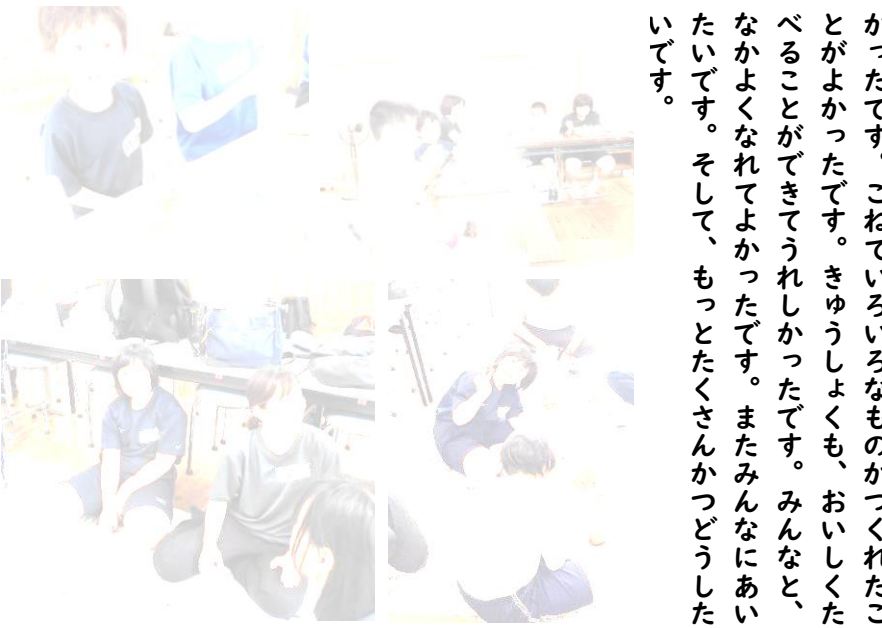
島前交流学習

あおぞら学級担任

七月三日に福井小学校で合同学習が行われました。おひさま学級の皆さん、あおぞら学級のくんが参加してきました。自分から大きな声で挨拶することを今回のめあてとして参加しました。合同学習では、陶芸に挑戦しました。事前に学校で何を作るか考え、練習も行ってきました。当日は、時間も少ない中、楽しみながら作品作りに熱中していました。時間内には二人とも満足いく作品が完成したようです。作業の後は、友だちの作品を鑑賞し、発表もできました。給食は福井小学校で交流しながら食べることができました。とても充実した一日だったようで、今回の経験を学校生活に活かせられるとうれしいです。

小学部あおぞら学級

ねんどはさわってみると、きもちよくてたのしかったです。こねていろいろなものがつくれたことがよかったです。きゆうしよくも、おいしくたべることができてうれしかったです。みんな、なかなかよくなれてよかったです。またみんなにいたいです。そして、もっとたくさんかつどうしたいです。



小学部 プール学習

担当

七月五日と十二日にプール学習を行いました。今年も西ノ島のプールに小学部全校で参加しました。一・二年生は小プールで水遊びを楽しみました。洗濯機でグルグル回ったり、宝物を探して潜水したり、伏し浮きをしたりと、全身で水を感じることができました。三〜六年生は大プールでバタ足や息継ぎを練習する組と、クロールと平泳ぎで泳ぐ組の二つに分かれて練習をしました。どちらのコースも水の感触を楽しみつつ、それぞれのめあてに向かって一生懸命取り組み姿が見られました。

